



鴻巣市立鴻巣南中学校 学校だより

<第5号>

令和6年8月29日

☎048-542-2861

清正明進



在籍生徒数

227名

◎学校教育目標「志を立てて 未来を拓く 南中生」

～自ら学ぶ確かな学力・思いやりのある豊かな心・たくましく鍛えたからだ～

2学期のスタートライン～たくましく生きる自分をつくる～

校長 宮野和幸

今年は、例年以上の酷暑に加え、雷雨・台風・地震等、自然災害の脅威に見舞われた夏となりましたが、きっと皆さんは、それぞれの夏休みを満喫したことでしょう。また、多くの皆さんも応援したとは思いますが、8月を中心に開催された夏季オリンピックでは、実に様々なドラマや感動シーンが数多く生まれました。現地の開催国フランスからも、世界各国の応援・声援を送るたくさんの観客・観衆の姿が広く報道されました。

さて、皆さんの中にも、この夏休み期間中、又は新しい年度がスタートしてから、家族や友人・知人等で、どこかへ出かけることが色々あったと思います。

私はこの5月に、武田鉄矢さんら3人で構成されている海援隊というフォークバンドが県内にてコンサートを開催するという情報が入ったため、それでは折角なのと思い、実際に会場まで足を運び、コンサートを見に行きました。約2時間のトーク&ライブという内容でしたが、実に見ごたえと聴きごたえがあり、会場に集まった多くのお客さんもきっと満足のいくものであったのではないかと感じました。

武田鉄矢さんというと、1979年から2011年の32年間にわたって、中学校という学校現場に焦点を当てて断続的に制作・放送された「3年B組金八先生」というテレビドラマの中で、熱血漢あふれる国語教師を演じたことで有名な方でもあります。

非行・不登校・いじめ・親子の問題等、学校が抱える様々な問題やテーマを真正面から取り上げたことから、当時は大変多くの反響や話題を集めたものです。

今回のコンサートのアンコールでは、当時の金八先生の口調で、詩人あいだみつおさんの一編の詩を朗読した後、当時の番組の主題歌としてつくられた「スタートライン」という歌を披露し、コンサートの最後を締めくくりました。

スタートライン ～中略(一部サビの歌詞を紹介)～

今 私達に大切なものは 恋や夢を語りあう事じゃなく 一人ぼっちになる為のスタートライン
今 私達に必要なものは 光り溢れる明るい場所じゃなく 一人ぼっちになる為のスタートライン

メロディー自体は実に爽やかな感じの曲調ですが、歌詞の内容は大変シビアで深い意味が込められているように感じます。様々な人間関係の中で培われる価値観、様々な経験や体験から得られる感性等を磨くとともに、これからの人生においては、人に頼らずに自分の足でしっかりと勇気ある第一歩を、そして強い心をもって踏み出すことの大切さを伝えているように思えます。いつも誰かのせいにしたり、常に批判や文句ばかりを言ったり、自分にとって都合が悪い又はいやなことからはすぐに逃げ出したりする等、そんな心の弱い自分はいませんか？この世には、完璧な人間はいないかもしれませんが、たゆまなく努力をすることは誰にもできるものです。「自立(自律)した強い人間性の構築」こそが必要ではないかということ、改めてこの曲をとおして私自身強く感じました。

さあ、2学期は様々な行事があり、大変忙しい日々が続く学期ではありますが、その分、様々な経験をおし、大きく成長することのできる時期でもあります。生徒の皆さんは、これからも様々なことにチャレンジして、「充実した日々」を過ごすとともに、これからの時代を力強く生きていける「自分自身の大きな成長」へと、どうぞつなげてください。